

## 協働力を高める「組織活性化」プログラム

～個人のエネルギーを高め、メンバー相互に率直な意見交換と育ちあえる質の高い関係づくりを支援するプログラム～

研修で「仕事を楽しめていますか？」と問うと、「楽しめている。」と答える人は全体の 1 割に満たない。9 割以上は「楽しめていない。」と答える会社組織が大半。つまり、高いエネルギーを持って仕事を進められていないということになる。どちらかと言うとやらされている感覚で仕事をこなしている状態が日々続いているのだと思われます。

エネルギーの源泉は、人と人との関わりから生まれます。それは、喜び、怒り、悲しみ、楽しみ、などの感情から生み出されてきます。つまり、エネルギーの低い組織は、感情を表現する場、もしくは、受け止めてくれる場が極めて限られてきてしまっているように思えます。そこには、遠慮も大いにあると思います。昨今のハラスメントの正しい理解をせぬまま「言ってはいけない、やってはいけない」リストが増えて、率直な意見交換もままなくなっているように思われます。そこで、本プログラムでは、メンバー相互に率直な意見交換ができる人間関係の質を高める他者への関係づくり、働きかけの方法を習得します。また、ゲームなどを通じて成功体験を積むことでメンバー相互の距離感を近づけることもすることながら、やればできるという自分たちの可能性に気づいてもらいます。組織としての一体感と育ちあう関係づくりを強化します。

### 成果を生み出す組織 5 要素

1. 目標と達成過程の共有
2. 明確な役割分担
3. 意思決定の機能
4. 活動情報の共有
5. 相互サポート（人間関係）